

令和 8（2026）年度 4 月期入学

公立小松大学大学院サステイナブルシステム科学研究科
（博士後期課程）

学生募集要項

一 般 選 抜
社 会 人 特 別 選 抜
外国人留学生特別選抜



公立小松大学大学院

令和 8（2026）年度 4 月期

入学者選抜試験日程（博士後期課程）

生産システム科学専攻

区 分		出願期間	試験日	合格発表	入学手続期間
第 1 期募集	一般選抜	令和 7 (2025) 年 8 月 4 日 (月)	令和 7 (2025) 年 8 月 23 日 (土)	令和 7 (2025) 年 9 月 12 日 (金)	令和 8 (2026) 年 2 月 19 日 (木) ～ 2 月 27 日 (金)
	社会人特別選抜	～ 8 月 8 日 (金)			
第 2 期募集	一般選抜	令和 7 (2025) 年 11 月 14 日 (金)	令和 7 (2025) 年 12 月 6 日 (土)	令和 7 (2025) 年 12 月 19 日 (金)	
	社会人特別選抜	～ 11 月 20 日 (木)			
外国人留学生特別選抜		随時	随時	随時	随時

ヘルスケアシステム科学専攻

区 分		出願期間	試験日	合格発表	入学手続期間
第 1 期募集	一般選抜	令和 7（2025）年 7 月 11 日（金）	令和 7（2025）年 8 月 2 日（土）	令和 7（2025）年 8 月 22 日（金）	令和 8（2026）年 2 月 19 日（木） ～ 2 月 27 日（金）
	社会人特別選抜	～ 7 月 17 日（木）			
	外国人留学生特別選抜				
第 2 期募集	一般選抜	令和 8（2026）年 2 月 24 日（火）	令和 8（2026）年 3 月 11 日（水）	令和 8（2026）年 3 月 17 日（火）	令和 8（2026）年 3 月 17 日（火） ～ 3 月 23 日（月）
	社会人特別選抜	～ 3 月 2 日（月）			
	外国人留学生特別選抜				

グローバル文化学専攻

区 分		出願期間	試験日	合格発表	入学手続期間
第 1 期募集	一般選抜	令和 7（2025）年 7 月 11 日（金）	令和 7（2025）年 8 月 2 日（土）	令和 7（2025）年 8 月 22 日（金）	令和 8（2026）年 2 月 19 日（木） ～ 2 月 27 日（金）
	社会人特別選抜	～ 7 月 17 日（木）			
	外国人留学生特別選抜				
第 2 期募集	一般選抜	令和 8（2026）年 1 月 26 日（月）	令和 8（2026）年 2 月 14 日（土）	令和 8（2026）年 2 月 27 日（金）	令和 8（2026）年 2 月 27 日（金） ～ 3 月 6 日（金）
	社会人特別選抜	～ 1 月 30 日（金）			
	外国人留学生特別選抜				

目 次

1. 入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）	1
2. 募集人員と入学期	3
3. 出願資格	3
4. 出願資格事前審査	4
5. 出願期間	5
6. 出願手続	6
7. 選抜方法及び試験日時等	9
I. 一般選抜	9
II. 社会人特別選抜	10
III. 外国人留学生特別選抜	12
8. 受験票の発送日等	14
9. 合格者発表	14
10. 入学手続	15
11. 入学料及び授業料	15
12. 修学支援	15
13. 受験及び修学上特別な配慮を必要とする者の事前相談	16
14. 個人情報の保護	18
15. 長期履修制度	18
16. 専攻長への事前連絡	19
17. 研究分野・担当教員名簿	19
18. 試験場の所在地等	21
19. お問い合わせ	22

1. 入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

サステイナブルシステム科学研究科

以下の資質を備えた入学者を求める。

- 本学の修士課程が有する生産システム科学、ヘルスケアシステム科学、グローバル文化学の各専攻およびこれに相当する高等教育機関において基盤的な知識と技能を学修し、各専攻の専門領域に関する実習を修了した人。
- 地域と世界の持続可能性への高い志を有し、持続可能な社会実現のために、既存のアカデミズムの枠組みにとらわれず、活用可能なアイデアを現場と連携して創出することに強い興味と意欲を持つ人。他分野にも関心を持ち、人類全体と身近な生活圏の持続可能性に係る課題を発見し、解決への道筋を示す意欲を有する人。
- 個々の専門性を深めるなかで、国内外の研究者に対して共鳴力と協調性をもってコミュニケーションでき、生命の尊厳と人間性を重んじる倫理観をもって課題に向き合うことができ、課題解決への強い意志を有する人。

【生産システム科学専攻】

ものづくりの分野において、工学に関する高度な専門性を活用して持続可能な生産プロセスを実現し、地域と世界の産業界に貢献できる人材を養成することを目的としている。このような観点から、つぎのような能力・資質を備えた入学者を求める。

- ものづくりの基本である機械工学の基盤となる種々の力学に関する学問分野についての基盤的知識を身につけている人。
- 持続可能な生産プロセス実現のため、情報工学、電気・電子工学を活用した DX や GX のシステム構築に意欲的な人。
- 自らの専門に留まらず、他分野の専門家と積極的に連携し、持続可能性のための課題解決に道筋をつける意欲と行動力を有する人。
- 地域の産業界と積極的に関わり、地域産業の発展のために指導的役割を果たす意欲を有する人。

【ヘルスケアシステム科学専攻】

地域に根ざしたヘルスケアの体系的な構築や医療機器の開発を通して、持続可能なコミュニティづくりに指導的役割ができる人材を養成することを目的としている。このような観点から、つぎのような能力・資質を備えた入学者を求める。

- 本学ヘルスケアシステム科学専攻が授与している修士の学位（保健学）を有する者及び、それと同程度の学力を有する人。
- 持続可能なヘルスケアを体系的に構築するための発想力、共鳴力、積極性、実行力、協調性を備えた人。
- 人々の健康と幸福に寄与するための高い志を持ち、キャリアパスとして高度保健医療専門職業人・研究者、あるいは教育者としての未来像を明確に描いている人。

【グローバル文化学専攻】

サステイナブルな社会を人文科学的・社会科学的視座から達成するために、先見のかつ総合的な道筋を提案し、国際・地域課題の解決に取り組む人材を養成することを目的としている。このような観点から、つぎのような能力・資質を備えた入学者を求める。

- 高等教育機関において基礎的な知識と技能を学修し、専門基礎に関する知識を有する人。
- 言語文化学・政治経済学・観光学の専門性を深めるなかで、豊かな創造性と歴史感覚を働かせるとともに、既存のアカデミズムの枠組みにとらわれない、先見のかつ総合的な道筋を提案できる人。
- 南加賀および北陸と国際社会の持続可能性に関する諸課題を発見し、解決に必要な能力と技術を備え、自国の文化に誇りを持ち、地域社会の文化的多様性を探求する力を養い、地域課題の解決に指導的役割を果たしたい人。

2. 募集人員と入学期

専攻名	募集人員 (全ての選抜区分の募集人数 の合計)	入学期	
		第1期募集	第2期募集
生産システム科学専攻	2人	令和8(2026) 4月期	
ヘルスケアシステム科学専攻	1人		
グローバル文化学専攻	1人		
合 計	4人		

3. 出願資格

各選抜の出願資格は、以下の各号のいずれかに該当する者としてします。

なお、出願資格以外にも、個別の出願条件が設定されている選抜もあります。出願条件の詳細は、各選抜の該当ページを参照してください。

- ① 修士の学位又は専門職学位を有する者及び令和8(2026)年3月31日までに取得見込みの者
- ② 外国において修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び令和8(2026)年3月31日までに授与される見込みの者
- ③ 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定する当該教育課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び令和8(2026)年3月31日までに授与される見込みの者
- ④ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び令和8(2026)年3月31日までに授与される見込みの者
- ⑤ 国際連合大学本部に関する国際連合と日本国との間の協定の実施に伴う特別措置法（昭和51年法律第72号）第1条第2項に規定する1972年12月11日の国際連合総会決議に基づき設立された国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者及び令和8(2026)年3月31日までに授与される見込みの者
- ⑥ 外国の学校、上記③の指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、大学院設置基準第16条の2に規定する試験及び審査に相当するものに合格した者及び令和8(2026)年3月31日までに合格見込みの者で、本研究科において、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者

⑦ 文部科学大臣の指定を受けた者

1) 大学等を卒業し、大学、研究所等において2年以上研究に従事した者で、大学院において、修士の学位を有する者と同等の学力があると認めた者

2) 外国において学校教育における16年の課程を修了した後、又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した後、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で、大学院において、当該研究の成果等により修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者

⑧ 本研究科において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、令和8(2026)年3月31日までに24歳に達する者

4. 出願資格事前審査（該当者のみ）

「3. 出願資格」の⑥、⑦、⑧により出願しようとする者は、以下により、出願期間前に出願資格審査を行う必要があります。

（1）提出書類

書 類	説明事項
出願資格事前審査申請書	添付の本研究科所定の様式に記入してください。
研究業績調書	添付の本研究科所定の様式に記入してください。
修了証明書	最終学歴のものを提出してください。
学業成績証明書	出願資格⑦により出願する者は、出身大学の学部長（又は学長）が作成したものを提出してください。 出願資格⑥、⑧により出願する者は、最終学歴の学校長が作成したもの（修得科目名および単位数が記載されているもの）を提出してください。
研究又は開発業務等の概要	別紙様式2に2,000字以内で記入してください。 (A4判5枚以内)
出願資格⑥に関する書類	出願資格⑥により出願をする者は、博士論文研究基礎力審査に相当する審査に係る確認様式及び当該審査の合格の基準がわかる資料等を提出してください。
返信用封筒 (審査結果通知用)	長3封筒に志願者の住所・氏名を明記し、410円分（速達料金含む。）の切手を貼付してください。

注 日本語・英語以外の言語で記載されたものについては、日本語訳もしくは英訳を添付してください。

(2) 提出期間及び審査結果通知の時期

専攻名	事項	第1期募集	第2期募集
		一般選抜 社会人特別選抜 外国人留学生特別選抜	一般選抜 社会人特別選抜 外国人留学生特別選抜
生産システム科学専攻	提出期間	令和7(2025)年 7月11日(金)～7月18日(金)	令和7(2025)年 10月20日(月)～10月24日(金)
	審査結果通知の時期	令和7(2025)年 7月下旬	令和7(2025)年 11月上旬
ヘルスケアシステム科学専攻	提出期間	令和7(2025)年 6月23日(月)～6月27日(金)	令和8(2026)年 1月26日(月)～1月30日(金)
	審査結果通知の時期	令和7(2025)年 7月上旬	令和8(2026)年 2月中旬
グローバル文化学専攻	提出期間	令和7(2025)年 6月23日(月)～6月27日(金)	令和8(2026)年 1月5日(月)～1月9日(金)
	審査結果通知の時期	令和7(2025)年 7月上旬	令和8(2026)年 1月中旬

注1 郵送（書留速達、レターパック、EMSに限る。）とし、提出期間最終日までに必着とします。
ただし、提出期間を過ぎて到着した提出書類でも、原則、提出期間最終日前日までの消印のある書留速達の郵便物（EMSは除く。）は有効とします。生産システム科学専攻の外国人留学生特別選抜は随時受付します。

2 審査の結果は、志願者に郵便で通知します。

5. 出願期間

専攻名	出願期間	
	第1期募集	第2期募集
	一般選抜 社会人特別選抜 外国人留学生特別選抜	一般選抜 社会人特別選抜 外国人留学生特別選抜
生産システム科学専攻	令和7(2025)年 8月4日(月)～8月8日(金)	令和7(2025)年 11月14日(金)～11月20日(木)
ヘルスケアシステム科学専攻	令和7(2025)年 7月11日(金)～7月17日(木)	令和8(2026)年 2月24日(火)～3月2日(月)
グローバル文化学専攻	令和7(2025)年 7月11日(金)～7月17日(木)	令和8(2026)年 1月26日(月)～1月30日(金)

注 出願書類は郵送（書留速達、レターパック、EMSに限る。）とし、出願期間最終日までに必着とします。ただし、出願期間を過ぎて到着した出願書類でも、出願期間最終日前日までの消印のある書留速達の郵便物（EMSは除く。）は有効とします。

6. 出願手続

(1) 出願方法

志願者は、出願書類を、出願期間内に以下の提出先へ郵送（書留速達、レターパック、EMS に限る。）してください。※ 本学窓口への持込みでは受理しません。

なお、出願書類に不備がある場合は、受理しないことがあります。また、出願書類に虚偽の記載があった場合は入学許可を取り消すことがあります。

【提出先】 公立小松大学 学生課大学院担当
〒923-8511 石川県小松市四丁町ヌ1 番地 3

※ 郵送された出願書類について、本学への到着の有無の問い合わせには応じません。日本郵便ウェブサイトの「郵便追跡サービス」により志願者本人が確認してください。

また、出願書類受理後はいかなる理由があっても書類の返却、記載事項の変更には応じません。出願書類等を手書きする場合は、消せないボールペンを使用してください。

(2) 出願書類等

①専攻共通書類

書 類	説明事項
入学志願票	添付の本研究科所定の様式を使用し、志願者本人が記入してください。
写真票	添付の写真票の所定欄に、写真（無帽上半身正面、出願期間前3か月以内に撮影したもの、縦4cm×横3cm、カラー・白黒いずれも可、裏面に志望専攻名及び氏名を明記）を貼付してください。
受験票	添付の本学所定の様式を使用してください。
入学検定料振込金証明書	入学検定料振込後、「振込金証明書（提出用）」に取扱金融機関の領収印が押印されていることを確認し、入学志願票の所定の欄に貼付してください。 「領収書（本人控）」は大切に保管してください。 納入方法は本要項8ページの「（3）入学検定料の支払い」を参照してください。 ただし、本学大学院修士課程修了見込で、引続き博士後期課程に進学する者の入学検定料は不要です。
受験票送付用封筒	長3封筒に確実に届く住所を記入し、410円分（速達料金含む。）の切手を貼付してください。
修了（見込）証明書	出身大学の大学院修士課程又は博士前期課程修了（見込）証明書です。 なお、本学大学院修士課程修了見込みの者は提出不要です。
学業成績証明書	出身大学院の研究科長（又は学長）が作成したものです。

修士の学位論文等	ア. 「修士論文の概要」（別紙様式 1-1）又は「研究又は開発業務等の概要」（別紙様式 2）に 2,000 字以内で記入してください。（A4 判 5 枚以内） 修了見込みの者は、修士論文の研究題目とその研究の進捗状況を要約したものとします。 グローバル文化学専攻志願者（一般選抜）は、上記に加えて「学士論文の概要」（別紙様式 1-2）を提出してください。 イ. 研究等に関連した論文の別刷又は学術講演、特許等参考となる書類（写し）がある場合は添付してください。 【注意事項】 日本語又は英語以外の言語による論文の場合は、日本語又は英語の要約も提出してください。
研究計画書	本研究科所定の「研究計画書」（別紙様式 3）に、入学後の希望研究テーマと、今後の研究計画を記述してください。

上表に記載の、様式 1-1 「修士論文の概要」、様式 1-2 「学士論文の概要」、様式 2 「研究又は開発業務等の概要」、様式 3 「研究計画書」は、本学ホームページに掲載の様式（電子データ）で作成して、A 4 判の用紙に印刷の上、提出することも可能です。

注 出願資格の⑥⑦又は⑧に該当する者は、出願資格事前審査で以下の書類が既に提出されているので改めて提出する必要はありません。

- ・「修了証明書」（最終学歴のもの）
- ・「学業成績証明書」（最終学歴のもの）
- ・「研究又は開発業務等の概要」
- ・博士論文研究基礎力審査に相当する審査に係る確認様式及び当該審査の合格の基準がわかる資料（出願資格⑥に該当する者）

②以下の書類は、該当者のみ提出してください。

書 類	説明事項
在留カードの写し パスポートの写し	日本に在留している外国人は、在留カード（表・裏）の写し及びパスポート（国籍、氏名、性別、生年月日が記載されたページ）の写しを提出してください。 日本に在留していない外国人は、パスポートの写しのみを提出してください。 ※ 出願書類には、上記の証明書等に記載された氏名を使用してください。
戸籍抄本	改姓等の理由で成績証明書等の記載事項が出願時と異なっている場合は、1 部提出してください。
大学院設置基準第 14 条に基づく教育方法の特例の適用申請について	社会人特別選抜志願者で、大学院設置基準第 14 条に基づく教育方法の特例の適用申請をする者は、添付の本研究科所定の様式を使用し、提出してください。
受験許可書	官公庁・企業・団体等に在職のまま在学することを希望する者は、添付の本研究科所定の様式を使用し、所属長（又は指導者）が作成した受験許可書を提出してください。

注「大学院設置基準第 14 条に基づく教育方法の特例」制度について

本研究科では、在職者等必要があるものに対して、大学院での学修を容易とするための「大学院設置基準第 14 条に基づく教育方法の特例」制度を設けています。

この制度を利用することで、研究科規程等に定められた教育課程に基づき、担当指導教員の許可・指導の下で弾力的に学修することができます。

制度の適用を希望する場合は、「大学院設置基準第 14 条に基づく教育方法の特例の適用申請について」を出願時に提出してください。

参考：大学院設置基準（昭和 49 年文部省令第 28 号）[抄]

第 14 条 大学院の課程においては、教育上特別の必要があると認められる場合には、夜間その他特定の時間又は時期において授業又は研究指導を行う等の適当な方法により教育を行うことができる。

（３）入学検定料の支払い

入学検定料 30,000 円

※ 本学大学院修士課程修了見込で、引続き博士後期課程に進学する者の入学検定料は不要です。

本要項に添付の振込依頼書に必要事項を記入の上、「電信扱」が利用できる金融機関（銀行、信用金庫、信用組合、農協、漁協）の窓口からお振込みください。振込手数料は、志願者負担となります。

金融機関は土・日・祝日は休業となりますので、注意してください。また、ゆうちょ銀行・郵便局、またはＡＴＭ（現金自動預払機）、携帯電話、およびパソコン等からの振込は受け付けません。

【入学検定料の返還について】

出願書類受理後は、原則として入学検定料の返還には応じません。ただし、入学検定料の振込後、出願を取り止めた場合は返還手続きを行うことができますので、第 1 期募集は令和 7 年 9 月 26 日（金）、第 2 期募集は令和 8 年 3 月 6 日（金）までに本要項 22 ページの「19. お問い合わせ」に連絡してください。なお、返還手続きの際は「領収書（本人控）」及び「振込金証明書（提出用）」が必要になります。

7. 選抜方法及び試験日時等

入学者の選抜は、口述試験、研究計画書及び出身大学の成績等を総合して判定します。
専攻ごとの選抜方法及び試験日時等は以下の通りです。

I. 一般選抜

《生産システム科学専攻》

1. 出願条件

本要項 3 ページ「3. 出願資格」の各号のいずれかに該当する者としてします。

2. 選抜方法

書類審査、口述試験に基づき、能力や資質を総合的に評価する。

試験科目	内 容
書類審査	修士論文又はこれに準ずるものの写し及び研究計画書を評価する。
口述試験	専門基礎学力と応用力、勉学意欲と研究に取り組む姿勢、英語力を問う。

《ヘルスケアシステム科学専攻》

1. 出願条件

本要項 3 ページ「3. 出願資格」の各号のいずれかに該当する者としてします。

2. 選抜方法

書類審査、口述試験で、専門分野についての学力と当該分野の研究に必要な英語能力を問う。

また、学業成績証明書に基づき、志願者の専門知識や健康と福祉が抱える諸課題の解決に向き合う勉学への意欲を評価する。

試験科目	内 容
書類審査	修士論文又はこれに準ずるものの写し及び研究計画書を評価する。
口述試験	専門分野についての学力と当該分野の研究に必要な英語能力を問う。

《グローバル文化学専攻》

1. 出願条件

本要項 3 ページ「3. 出願資格」の各号のいずれかに該当する者としてします。

2. 選抜方法

書類審査、口述試験及び専門分野についての学力と当該分野の研究に必要な外国語能力を問う試験を課す。

試験科目	内 容
書類審査	学士論文、修士論文又はこれに準ずるものの写し及び研究計画書を評価する。
口述試験	学業成績証明書に基づき、志願者の専門知識や地域が抱える諸課題の解決に向き合う勉学への意欲を評価すると同時に外国語能力を問う。

外国語の種類については、専攻長にお問い合わせください（本要項 19 ページ参照）。

試験日時・試験科目・試験場（一般選抜）

専攻名	試験区分	試験日	試験時間	試験科目	試験場
生産システム科学専攻	第 1 期募集	令和 7 (2025) 年 8 月 23 日 (土)	個別対応	口述試験	栗津キャンパス
	第 2 期募集	令和 7 (2025) 年 12 月 6 日 (土)			
ヘルスケアシステム科学専攻	第 1 期募集	令和 7 (2025) 年 8 月 2 日 (土)	13 : 30～		末広 or 中央 キャンパス
	第 2 期募集	令和 8 (2026) 年 3 月 11 日 (水)	10 : 00～		末広キャンパス
グローバル文化学専攻	第 1 期募集	令和 7 (2025) 年 8 月 2 日 (土)	13 : 30～		中央キャンパス
	第 2 期募集	令和 8 (2026) 年 2 月 14 日 (土)			

Ⅱ．社会人特別選抜

《生産システム科学専攻》

1. 出願条件

入学時に教育研究機関、官公庁、企業等において、通算 2 年以上の専門的な実務経験を有し、入学後も在職し、所属長の受験許可を受けた者で、本要項 3 ページ「3. 出願資格」の各号のいずれかに該当する者としてします。

なお、志願者は、出願期間前までに必ず専攻長に申し出てください（本要項 19 ページ参照）。

2. 選抜方法

書類審査、口述試験、学業成績証明書に基づき、能力や資質を総合的に評価する。

試験科目	内 容
書類審査	修士論文又はこれに準ずるものの写し及び研究計画書を評価する。
口述試験	専門分野についての学力と当該分野の研究に必要な英語力、および社会人としての経験を基にした勉学意欲と研究に取り組む姿勢を問う。

《ヘルスケアシステム科学専攻》

1. 出願条件

令和8(2026)年3月31日までに通算3年以上の職歴を有し[定時制、夜間、通信制の学校以外の学校(大学を含む。)の在学期間は、社会人としての経験年数に含まない。]、入学後も在職し、所属長の受験許可を受けた者で、本要項3ページ「3. 出願資格」の各号のいずれかに該当する者としてします。なお、志願者は、出願期間前までに必ず専攻長に申し出てください(本要項19ページ参照)。

2. 選抜方法

書類審査、口述試験、学業成績証明書に基づき、能力や資質を総合的に評価する。

試験科目	内 容
書類審査	修士論文又はこれに準ずるものの写し及び研究計画書を評価する。
口述試験	専門分野についての学力と当該分野の研究に必要な英語力、および社会人としての経験を基にした勉学意欲と研究に取り組む姿勢を問う。

《グローバル文化学専攻》

1. 出願条件

令和8(2026)年3月31日までに通算3年以上の職歴を有し[定時制、夜間、通信制の学校以外の学校(大学を含む。)の在学期間は、社会人としての経験年数に含まない。]、入学後も在職し、所属長の受験許可を受けた者で、本要項3ページ「3. 出願資格」の各号のいずれかに該当する者としてします。なお、志願者は、出願期間前までに必ず専攻長に申し出てください(本要項19ページ参照)。

2. 選抜方法

書類審査、口述試験、学業成績証明書に基づき、志願者の専門知識や地域が抱える諸課題の解決に向き合う意欲と資質を総合的に評価する。

試験科目	内 容
書類審査	修士論文又はこれに準ずるものの写し及び研究計画書を評価する。
口述試験	専門分野についての学力と当該分野の研究に必要な英語力、および社会人としての経験を基にした勉学意欲と研究に取り組む姿勢を問う。

試験日時・試験科目・試験場（社会人特別選抜）

専攻名	試験日		試験時間	試験科目	試験場
生産システム科学専攻	第1期募集	令和7(2025)年 8月23日(土)	個別対応	口述試験	栗津キャンパス
	第2期募集	令和7(2025)年 12月6日(土)			
ヘルスケアシステム科学専攻	第1期募集	令和7(2025)年 8月2日(土)	13:30～		末広 or 中央 キャンパス
	第2期募集	令和8(2026)年 3月11日(水)	10:00～		末広キャンパス
グローバル文化学専攻	第1期募集	令和7(2025)年 8月2日(土)	13:30～		中央キャンパス
	第2期募集	令和8(2026)年 2月14日(土)			

Ⅲ. 外国人留学生特別選抜

《生産システム科学専攻》

1. 出願条件

日本の国籍を有しない者で、在留資格が「留学」を有する者又は入学時に「留学」に変更又は取得できる見込みの者で、本要項3ページ「3. 出願資格」の各号のいずれかに該当する者とします。なお、本学生産システム科学科を卒業見込みの者及び卒業した者については出願できません。志願者は、出願期間前までに必ず専攻長に申し出てください（本要項19ページ参照）。

2. 選抜方法

書類審査、口述試験及び専門分野についての学力と当該分野の研究に必要な英語・日本語能力を問う試験を課し、能力や資質を総合的に評価する。

試験科目	内 容
書類審査	修士論文又はこれに準ずるものの写し及び研究計画書を評価する。
口述試験	専門分野についての学力と当該分野の研究に必要な英語・日本語能力を問う。 学業成績証明書に基づき、志願者の勉学意欲と研究に取り組む姿勢を問う。

《ヘルスケアシステム科学専攻》

1. 出願条件

日本の国籍を有しない者で、在留資格が「留学」を有する者又は入学時に「留学」に変更又は取得できる見込みの者で、本要項3ページ「3. 出願資格」の各号のいずれかに該当する者とします。なお、志願者は、出願期間前までに必ず専攻長に申し出てください（本要項19ページ参照）。

2. 選抜方法

書類審査、口述試験及び専門分野についての学力と当該分野の研究に必要な英語・日本語能力

を問う試験を課し、能力を総合的に評価する。

試験科目	内 容
書類審査	修士論文又はこれに準ずるものの写し及び研究計画書を評価する。
口述試験	専門分野についての学力と当該分野の研究に必要な英語・日本語能力を問う。 学業成績証明書に基づき、志願者の勉学意欲と研究に取り組む姿勢を問う。

《グローバル文化学専攻》

1. 出願条件

日本の国籍を有しない者で、在留資格が「留学」を有する者又は入学時に「留学」に変更又は取得できる見込みの者で、本要項3 ページ「3. 出願資格」の各号のいずれかに該当する者となります。なお、志願者は、出願期間前までに必ず専攻長に申し出てください（本要項 19 ページ参照）。

2. 選抜方法

書類審査、口述試験及び専門分野についての学力と当該分野の研究に必要な外国語・日本語能力を問う試験を課し、能力を総合的に評価する。

試験科目	内 容
書類審査	修士論文又はこれに準ずるものの写し及び研究計画書を評価する。
口述試験	専門分野についての学力と当該分野の研究に必要な外国語・日本語能力を問う。 学業成績証明書に基づき、志願者の専門知識や地域が抱える諸課題の解決に向き合う勉学への意欲を評価する。

試験日時・試験科目・試験場（外国人留学生特別選抜）

専攻名	試験日		試験時間	試験科目	試験場
生産システム科学専攻	第 1 期募集	随時	随時	口述試験	栗津キャンパス
	第 2 期募集				
ヘルスケアシステム科学専攻	第 1 期募集	令和 7 (2025) 年 8 月 2 日 (土)	13:30～		末広 or 中央 キャンパス
	第 2 期募集	令和 8 (2026) 年 3 月 11 日 (水)	10:00～		末広キャンパス
グローバル文化学専攻	第 1 期募集	令和 7 (2025) 年 8 月 2 日 (土)	13:30～		中央キャンパス
	第 2 期募集	令和 8 (2026) 年 2 月 14 日 (土)			

8. 受験票の発送日等

専攻名	発送日	
生産システム科学専攻	第1期募集	令和7(2025)年 8月15日(金)頃
	第2期募集	令和7(2025)年 11月28日(金)頃
ヘルスケアシステム科学専攻	第1期募集	令和7(2025)年 7月25日(金)頃
	第2期募集	令和8(2026)年 3月5日(木)頃
グローバル文化学専攻	第1期募集	令和7(2025)年 7月25日(金)頃
	第2期募集	令和8(2026)年 2月6日(金)頃

注1 生産システム科学専攻の外国人留学生特別選抜の志願者には、出願（随時）からおおよそ1週間後に発送します。

2 試験当日は、受験票を必ず持参してください。

3 受験番号は、入学手続きにも必要です。それまで「受験票」は大切に保管してください。

9. 合格者発表

専攻名	合格発表日	
	第1期募集	第2期募集
	一般選抜 社会人特別選抜 外国人留学生特別選抜	一般選抜 社会人特別選抜 外国人留学生特別選抜
生産システム科学専攻	令和7(2025)年9月12日(金)	令和7(2025)年12月19日(金)
ヘルスケアシステム科学専攻	令和7(2025)年8月22日(金)	令和8(2026)年3月17日(火)
グローバル文化学専攻	令和7(2025)年8月22日(金)	令和8(2026)年2月27日(金)

合格者の受験番号を本学のホームページにおいて発表するとともに、合格者に合格通知書を送付します。なお、電話による可否の照会には応じません。

公立小松大学ホームページ <https://www.komatsu-u.ac.jp/>

注 生産システム科学専攻の外国人留学生特別選抜の合格者は、試験日（随時）から2週間以内に発表します。

10. 入学手続

入学手続期間及び方法については、第1期募集合格者へは令和8年2月下旬、第2期募集合格者へは合格通知時に送付する「大学院入学手続要項」によりお知らせします。

11. 入学料及び授業料

(1) 入学料

282,000 円

(2) 授業料

585,800 円（年額） 292,900 円（前・後期分同額）

注1 上記の金額は予定額であり、入学時又は在学中に授業料が改定された場合には、改定時から新授業料が適用されます。

2 入学料、授業料の免除及び減免の制度があります。

入学者の選抜区分	減免内容
一般選抜	入学料及び授業の全額を免除する。
社会人特別選抜	所得金額が500万円/年以下の場合については授業料の半額を免除する。
外国人留学生特別選抜	入学料及び授業料の全額を免除する。

12. 修学支援

以下の選抜区分対象者に修学支援のための給付金があります。

	入学者の選抜区分	給付内容
1	一般選抜	修学支援のため10万円/月を給付する。 (標準修業年限まで)
2	外国人留学生特別選抜	

13. 受験及び修学上特別な配慮を必要とする者との事前相談

入学志願者で、心身に障がい等があり、受験及び修学に特別な配慮を必要とする者は、以下の事前相談期限日までに事前相談書を、本要項 22 ページの「19. お問い合わせ」に記載された公立小松大学学生課大学院担当へ提出し、相談してください。

専攻名	事前相談期限日	
	第1期募集	第2期募集
生産システム科学専攻	令和7(2025)年7月25日(金)	令和7(2025)年11月7日(金)
ヘルスケアシステム科学専攻	令和7(2025)年7月4日(金)	令和8(2026)年2月18日(水)
グローバル文化学専攻	令和7(2025)年7月4日(金)	令和8(2026)年1月19日(月)

注1 生産システム科学専攻の外国人留学生特別選抜については、随時受け付けます。

2 事前相談書は次ページの様式で提出してください。参考となる書類がある場合は、それらも添付してください。

事前相談書

令和 年 月 日 提出

ふりがな		生年月日	性別
志願者氏名		年 月 日	男・女
現住所	〒		
電話番号	() —		
大学院等名	(大学院等名)		
	(修了年次) 年 月 修了見込・修了		
志望専攻名	サステイナブルシステム科学研究科 専攻		
選抜区分 ※ 該当する区分に○	・一般選抜 ・社会人特別選抜 ・外国人留学生特別選抜		
障がいの種類、程度			
受験、修学において 配慮を希望する事項			
大学院等で 配慮されていた事項			
日常生活の状況			
参考書類 ※ 添付したものに○	・医師の診断書（提出日から3か月以内に発行のもの） ・障害者手帳の写し ・その他（)		

14. 個人情報の保護

公立小松大学では、独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律及び学内管理規程等に基づき、本学が保有する個人情報の適正な管理と保護に努めています。

本学が入学選抜を通じて取得した個人情報及び入学手続時に提出する書類に記載されているすべての個人情報は、当該研究科の学生募集要項で明示した利用目的のほか、次の業務でのみ利用します。これら以外の業務に、上記の個人情報を使用することはありません。

- (1) 入学選抜及び入学手続に関わる業務
- (2) 入学後の学籍管理、修学指導に関わる業務及び健康診断等の保健管理に関わる業務
- (3) 入学後の本学ポータルサイト利用、学内LAN利用、図書館利用及び図書貸出し等の学内サービス業務
- (4) 入学料免除、授業料免除、奨学生選考等の修学支援に関わる業務
- (5) 入学料・授業料の納入に関わる業務及び収納業務を委託する金融機関での必要な業務
- (6) 入学選抜に関する個人が特定できない形で行う調査研究業務
- (7) 在学者及びその家族を対象とする広報に関わる業務及び基金（寄附）に関わる業務
- (8) 修了者に対する学修成果等調査、同窓会及び基金活動への支援、本学を通じた情報サービス・情報提供等に関する業務
- (9) その他、個人が特定できない形で行う統計処理業務

15. 長期履修制度

長期履修制度とは、職業を有している等の事情により修学が困難な者に対して、標準修業年限を超えて一定の延長時間を加えた期間に、計画的な教育課程の履修を認めるものです。本研究科では、最長6年までの在学期間を認めています。

入学時に許可されれば、通常の修業年限（3年）において支払う授業料の総額を、長期履修期間として認められた期間に学期毎に均分して支払うことになります。

長期履修を申し出ることができる者は、次のいずれかに該当する者で、標準修業年限内での修学が困難な事情にあるものです。

- (1) 有職者
- (2) 家事、育児、介護等に従事している者
- (3) 身体障がい、知的障がい、精神障がい（発達障がいを含む。）その他の心身の機能に障がいがある者

長期履修制度の利用を希望する場合は、出願期間内に本要項 22 ページ「19. お問い合わせ」に希望する旨を連絡してください。

16. 専攻長への事前連絡

志願者は、出願期間前までに、志望する専攻の専攻長に申し出る必要がありますので、注意してください。

連絡先

専攻名	氏名	メールアドレス
生産システム科学専攻	(専攻長) 教授 上田 芳弘	yoshihiro.ueda@komatsu-u.ac.jp
ヘルスケアシステム科学専攻	(専攻長) 教授 徳田 真由美	mayumi.tokuda@komatsu-u.ac.jp
グローバル文化学専攻	(専攻長) 教授 岡村 徹	toru.okamura@komatsu-u.ac.jp

17. 研究分野・担当教員名簿 [令和8(2026)年4月1日予定]

(◆) 印のついた教員は主任指導教員として選択することはできません。

(◇) 印のついた教員は科目のみ担当。

生産システム科学専攻

研究分野	担当教員	職名	専門分野
エネルギー・安全工学分野	木村 繁男◇	教授	熱工学、流体力学、伝熱工学
	歌野原 陽一	教授	エネルギー工学
	高山 純一	教授	土木工学（土木計画学、交通工学、都市計画）
	鈴木 章斗	教授	数理物理学
	大西 元	准教授	熱流体デバイス
材料・加工学分野	香川 博之	教授	機械工学、健康・スポーツ科学、人間医工学
	細川 晃	教授	精密加工学、生産工学、加工計測
	粕谷 素洋	教授	表面・界面科学、トライボロジー
ダイナミクス・ロボティクス分野	酒井 忍	教授	スポーツ科学、設計工学、材料力学
	史 金星	教授	設計工学、CAE、計算力学
	疋津 正利	准教授	メカトロニクス
電気電子工学分野	池田 慎治	准教授	電気電子工学、ナノ・マイクロ科学
情報科学分野	上田 芳弘	教授	データ科学、知識共有
	村山 立人	教授	情報学基礎、計算基盤、物理学
	篠原 晋	教授	応用物理学、物理学
	梶原 祐輔	教授	人工知能、人間情報学、人間医工学

ヘルスケアシステム科学専攻

研究分野	担当教員	職名	専門分野
ヘルスケアシステム分野	伊藤 道子◆	教授	感染看護学、基礎看護学、看護教育学
	仲田 浩規	教授	基礎医学
高齢者包括ケアシステム分野	徳田 真由美	教授	看護学、保健学
	橋本 泰成	教授	人間医工学、人間情報学、脳科学
ヘルスバイオエンジニアリング分野	山岡 禎久	教授	人間医工学
	藤田 一寿	准教授	神経科学、人間情報学、情報科学
生体代行システム分野	山岡 哲二	教授	医用生体工学、生体材料学
	北浦 弘樹	教授	神経科学、基礎医学、外科系臨床医学
	山田 昭博	准教授	人間医工学、電気電子工学、臨床外科学
サステイナブルコミュニティ分野	高木 祐介	教授	公衆衛生学、生理学、栄養学
	木森 佳子	教授	看護学、看護理工学
その他関連分野	山本 博◇	教授	基礎医学、糖尿病学、生物科学
	盛永 審一郎◇	客員教授	実存倫理学、応用倫理学

グローバル文化学専攻

研究分野	担当教員	職名	専門分野
国際観光・地域創生分野	杓谷 茂樹	教授	観光人類学、文化人類学
	中村 誠一	教授	考古学、文化資源学、地域研究
	中子 富貴子	教授	観光学、観光社会学、地域観光
	朝倉 由希	准教授	芸術学、地域研究
	木村 誠	准教授	心理学
	清 剛治	教授	経済学、経営学、地域研究関連
政治経済分野	望月 葵	講師	中東イスラーム地域研究、政治学、難民研究
	西島 薫	講師	地域研究、政治人類学、インドネシア研究
言語文化分野	岡村 徹	教授	英語学、言語学、社会言語学
	小原 文衛	教授	アメリカ文学、映画研究
	西村 聡	教授	文学、史学、芸術学
	島内 俊彦	教授	人間情報学、科学教育・教育工学、言語学、地域研究
	長辻 幸	准教授	英語学、言語学、語用論
	橋本 貴子	准教授	中国語学、中国語音韻史
	デニス・ハーモン	准教授	教育哲学、精神分析、アイデンティティ

18. 試験場の所在地等

(1) 公立小松大学 粟津キャンパス

【所在地】〒923-8511 石川県小松市四丁町ヌ1番地3

【アクセス】粟津駅から徒歩約12分

【実施専攻】生産システム科学専攻



(2) 公立小松大学 末広キャンパス

【所在地】〒923-0961 石川県小松市向本折町へ14番地1

【アクセス】小松駅から路線バスで「市民病院」下車（所要時間約7分）徒歩約3分、
小松駅から徒歩約23分

【実施専攻】ヘルスケアシステム科学専攻

(3) 公立小松大学 中央キャンパス

【所在地】〒923-0921 石川県小松市土居原町10番地10

【アクセス】小松駅から徒歩約1分

【実施専攻】ヘルスケアシステム科学専攻

グローバル文化学専攻



19. お問い合わせ

月曜日から金曜日（祝日を除く。）の午前 9 時から午後 5 時の間に下記までお問い合わせください。

公立小松大学 学生課 大学院担当

〒923-8511 石川県小松市四丁町ヌ 1 番地 3（栗津キャンパス）

電話 : 0761-41-6700 E-mail : daigakuin@komatsu-u.ac.jp

【不測の事態が発生した場合の情報提供について】

不測の事態により試験時間等を変更する場合は、本学ホームページに随時情報を掲載しますので、受験直前は特に注意して確認してください。

公立小松大学ホームページ <https://www.komatsu-u.ac.jp/>